

平成 30 年 10 月 01 日

会 員 各 位

食品品質保持技術研究会
会 長 林 徹

講演会・情報交換会のご案内

拝啓 秋麗の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、首題の件に関しまして下記次第により開催する運びとなりました。
つきましては、ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合せのうえご出席くださいますよう
ご案内いたします。

なお整理の都合上、10月31日(水)迄にご出欠およびご出席者名のご連絡をお願い申し上げます。

敬具

記

- 日時 平成 30 年 11 月 27 日(火)
- 場所 主婦会館プラザエフ クラルテ(地下 2 階)
J R 四谷駅 麴町口 徒歩 1 分
丸の内線・南北線 四ツ谷駅 徒歩 2 分
〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 番地
Tel: 03-3265-8111
(当日以外の電話連絡はご遠慮ください。)
- 参加費用 **講演会** 会 員…無料
非会員…5,000 円
情報交換会 会 員…2名様まで無料
(3名様以上ご出席のときは、追加1名様につき 3,000円
ご負担願います。当日会場にて頂戴いたします。)
非会員…5,000 円
- 申込み メール本文のリンク、若しくは添付の申し込み用紙にてお申込み下さい。
*受講票は発行しておりません。
受付にて名刺のご提出をお願いいたします。

5 食品品質保持技術研究会講演会・情報交換会 (13:30～19:00)

◎ 会長挨拶 (13:30～13:35)

◎ 講演会 (13:35～16:50)

○人工知能が切り拓く次世代社会 (13:35～15:05)

～食品業界における人工知能の取り組みと可能性～

日本電気株式会社 プラットフォームソリューション事業部

ニューITエバンジェリスト 林 雄代 氏

1950年代後半に登場した人工知能が、近年再び脚光を浴びています。昔は夢物語にすぎなかった人工知能は研究が進み、既に様々な分野での利用が始まっています。特に、画像認識や音声認識などの世界では、認識エンジンの中に人工知能の技術が取り入れられており、ビッグデータの分析などにおいても利用が進みつつあります。今回の講演では、人工知能に焦点を当て、特に食品業界とのかかわりや、研究成果、具体的な適用事例をご紹介します。

○休憩 (15:05～15:20)

○生食のおいしさとリスク (15:20～16:50)

一般財団法人日本食品分析センター 学術顧問

北海道大学 名誉教授 一色 賢司 氏

「生」は多義語になっている。生食パンは、そのまま食べる食パンのことだそうである。生煮えや生ぬるいなどの接頭語では「いいかげんな、中途半端な」や「少しばかり、何となく」の意味も含む場合がある。生安全は困るが、ゼロリスクもありえない。約12万年前、人類は火を着けたり、消したりできるようになった。それまでは大事な火種を絶やさない努力が必要であった。火以外の加熱操作も普及しても、加熱しない生食は続けられている。非加熱、加熱不足なども含めて、生食のおいしさやリスクについて考察してみたい。

◎ 情報交換会 (17:00～19:00)

エフ スペース&ランチビュッフェ(2階)

以 上

お問合せは

>>品保研 事務局<<

(日本食品分析センター 内)

遠山・織本・鈴木まで

T E L 03-3469-7138 / 03-3469-7131 F A X 03-3469-7814

E-mail : hinpoken@jfrl.or.jp **F A X 03-3469-7814**

宛先 一般財団法人日本食品分析センター内 食品品質保持技術研究会 事務局

〒151-0062 渋谷区元代々木町 52-1 TEL 03-3469-7138 / 03-3469-7131

11/27(火) 講演会・情報交換会		会 員
ご出席	ご欠席	Y
[申込〆切… 10/31(水)]		
会社名または団体名 :		
申込みご担当者名 :		
E-mail : (品保研ご担当者以外の方がお申込みされるときご記入ください)		メールで申込時は不要
※ ご出席に〇印をされた方は、以下にご記入下さい。		
【講演会1】 人工知能が切り拓く次世代社会 ～食品業界における人工知能の取り組みと可能性～		
参加人数	参 加 者 名	
名		
名		
名		
【講演会2】 生食のおいしさとリスク		
参加人数	参 加 者 名	
名		
名		
名		
【情報交換会】 会場…エフ スペース(2階)		
参加人数	参 加 者 名	
名		
名		
名		

----- 事務局 使用欄 -----

担当者	
-----	--